学校番号	３０２１

令和２年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	総合英語	3	第１学年	PRO-VISION English Communication I （桐原書店） フェイバリット　英単語･熟語〈テーマ別〉コーパス 4500（東京書籍） CNN Workbook Extended Course 2020 (Asahi Press)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・総合英語の授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。また、語彙力増強のために、『フェイバリット　英単語・熟語〈テーマ別〉コーパス 4500』に取り組んでもらいます。年間チェックテスト計画に基づき、さまざまな例文に触れながら、単語を覚え、定着を図ってください。

・音読は英語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語特有の発音やリズム、イントネーションに音読を習慣的に行いましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「総合英語」（３単位）及び「英語表現」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・身近なトピックや自分の経験についてわずかな準備で１分程度話すことができる。 ・まとまりのある文を読み(Communication Ⅰ教科書本文)、内容について１分程度で話すことができる。	英語表現 Speech& Presenta- tion Perfor- mance Test	・身近な話題や自分の経験について筋道だった論理的な文章を７０語程度で書くことができる。 ・まとまりのある文を読み(Communication Ⅰ教科書本文)要約文を５～８文程度で書くことができる。	英語表現 定期考査 総合英語 定期考査	・はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。 ・日常会話や時事英語を聞き取ることができる。	英語表現 定期考査 総合英語 定期考査	・小説やエッセイなどの平易な200～300語程度の文を100wpm で読み、内容を把握することができる。 ・社会問題や科学をテーマとした 200～300 語程度の文を正確に読むことができる。	総合英語 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
実施方法	個人／ﾍﾟｱ／ｸﾞﾙｰﾌﾟでの言語活動の観察とﾜｰｸｼｰﾄの内容ﾁｪｯｸ	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」 ｽﾋﾟｰﾁ／ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝのﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ、定期考査・課題でのｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞ(70 語)	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」 定期考査（筆記・ﾘｽﾆﾝｸﾞ）、授業中の理解度ﾁｪｯｸﾃｽﾄ、ﾜｰｸｼｰﾄを提出させ、取組み状況のﾁｪｯｸ	定期考査(筆記) ﾜｰｸｼｰﾄを提出させ、取組み状況をﾁｪｯｸ

上に示す観点に基づいて、年５回の定期考査毎に評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

単元(配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1	山中伸弥教授がノーベル賞受賞に至るまでにたどった人生を自ら語る内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・山中教授が経験してきたことと人生に対する姿勢についての自分の感想や意見を伝える。	・セクションごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		・山中教授のスピーチを読んで、その内容を要約して書く。 ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について１分程度で話す。	・各セクションの内容の要約文を書く。 ・ペアで、メモに基づいて自分の将来の夢について伝え合う。	・山中教授のスピーチを読んで、その内容を要約して書くことができる。 ・読んだことに基づき、自分の将来の夢について１分程度で話すことができる。	・ペアでの言語活動を観察するとともに授業内で発表させる。
		「英語理解の能力」			
		・山中教授が下積み時代に何を夢見てどのような生活を送っていたのか、またその経験からどのような信念を持つようになったかについて、読んだことを理解する。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・山中教授の半生と信念について読んだことを理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・未来のことを伝える表現の使い方を理解する。 ・動詞 tell などの目的語に wh 節や whether 節を用いる方法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・未来のことを伝える表現の使い方を理解している。 ・動詞 tell などの目的語に wh 節や whether 節を用いる方法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2	日本の食文化の１つである「弁当」という形式が海外でブームになっていることを述べた内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・日本の食べ物や料理について知っていることを、間違うことを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に、日本の食べ物や料理について知っていることをペアで英語で伝え合う。	・日本の食べ物や料理について知っていることを、間違うことを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。

		「英語表現の能力」			
		・外国の人に薦めたい日本のみやげものについて、１分程度で適切に説明する。	・自分のアイデアをワークシートに英語でメモし、いくつかの箇条書きの文にまとめる。	・外国の人に薦めたい日本のみやげものについて、1分程度で適切に説明することができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取組状判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・「弁当」が海外でブームになっている理由を、読んで理解する ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・「弁当」が海外でブームになっている理由について、読んだことを理解することができる。 ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了形、過去完了形、現在完了進行形の使い方を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了形、過去完了形、現在完了進行形の意味と使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 3	女性マラソンランナーの先駆者であるキャサリン・スウィッツァーの経験を描いた内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・スポーツ界に限らず女性に対する偏見や差別について知っていることを、間違うことを恐れず、積極的に話す。	・各セクションを読む前に女性差別について知っていることをペアで英語で伝え合う。	・女性差別について知っていることを、間違うことを恐れず、積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		・相撲の土俵やオリンピックのゴルフ場などスポーツ界の女性差別に関するニュースに対する自分の意見を英語で言う。	・自分のアイデアをワークシートに英語でメモし、いくつかの箇条書きの文にまとめる。	・女性差別に対する自分の意見を１分程度英語で言うことができる。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・キャサリン・スウィッツァーの経験を、読んで理解する。 ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・キャサリン・スウィッツァーの経験を、読んで理解することができる。 ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		。助動詞、疑問詞＋to do、名詞＋主語＋動詞の意味と用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・助動詞、疑問詞＋to do、名詞＋主語＋動詞の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4	ビーバーが生態系において果たす重要な役割について述べた内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		興味深い動物の生態について知っていること（調べたこと）を、間違うことを恐れず、積極的に話す。	各セクションを読む前に興味深い動物の生態について知っていること（調べたこと）をグループで英語で伝え合う。	興味深い動物の生態について知っていること（調べたこと）を、間違うことを恐れず、積極的に話すことができる。	・グループでの言語活動を観察する。 ・授業内で発表させる。

		「英語表現の能力」			
		・ビーバーが生態系において果たす重要な役割について p.47 の図を用いてスクリプトを見ながら簡潔に説明する。	・説明の内容をワークシートに英語でメモし、１つの説明文にまとめる。	・ビーバーが生態系において果たす重要な役割について p.47 の図を用いてスクリプトを見ながら簡潔に説明することができる。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・ビーバーが生態系に対して果たしている役割を、読んで理解する。 ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・ビーバーが生態系に対して果たしている役割を、読んで理解することができる。 ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・受動態、関係代名詞 what の意味と用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・受動態、関係代名詞 what の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 5	チョコレートにまつわる文化や歴史について述べた内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・チョコレートを話題にして、好みや知っていることを質問する。また、適切な応答の仕方を身につける。	・各セクションを読む前に、チョコレートについて好みや知っていることをペアで質問しあう。加えて応答の仕方も学ぶ。	・チョコレートを話題にして、好みや知っていることを質問することができる。また、適切な応答の仕方を覚える。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		・チョコレート生産の裏にある社会問題について考察し、英語スクリプトを見ながら１分程度の英語で言う。	・ワークシートに英語でメモし、考察をまとめる。	・チョコレート生産の裏にある社会問題について考察し、スクリプトを見ながら１分程度の英語で言うことができる。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・チョコレートが世界に普及した歴史と、現代における負の側面を読んで理解する。 ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・チョコレートが世界に普及した歴史と、現代における負の側面を読んで理解することができる。 ・各セクションの要約文をそれぞれ２～３文程度で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・形式目的語の it、「動詞＋目的語＋不定詞」の意味と用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・形式目的語の it、「動詞＋目的語＋不定詞」の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 6	ベネズエラの音楽教育システム「エル・システマ」について紹介する内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・音楽を話題にして、好みや知っていることを質問する。また、適切な応答の仕方を身につける。	・各セクションを読む前に、音楽について好みや知っていることをペアで質問しあう。加えて応答の仕方も学ぶ。	・音楽を話題にして、好みや知っていることを質問することができる。また、適切な応答の仕方を覚える。	・ペアでの言語活動を観察する。

		「英語表現の能力」			
		・ベネズエラ、あるいは世界の音楽教育について調べたことを書き、スクリプトを見ながら英語で簡潔に発表する。	・ワークシートに英語でメモし、スクリプトにまとめる。	・ベネズエラあるいは世界の音楽教育について調べたことを、スクリプトを見ながら１分程度の英語で簡潔に説明することができる。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・ベネズエラで音楽教育が導入されたいきさつとその背景を読んで理解する。 ・本文全体の要約文を５～8 文程度の英語で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・ベネズエラで音楽教育が導入されたいきさつとその背景を読んで理解することができる ・本文全体の要約文を5～8 文程度の英語で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・動名詞の意味さまざまな用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 7	植物と動物及び植物同士が行うコミュニケーションについて述べた内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・植物が「話す」としたらどんなやり方でかをペアで考え話し合う。	各セクションを読む前に植物が「話す」やり方について考えたことをメモし、それを参考にしながらペアで話し合う。	・植物が「話す」としたらどんなやり方でかをペアで考え話し合う。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		・ある植物との英語での１本程度の会話文をペアで創作し。言えるようにする。	・ワークシートに書き込む。	・ある植物との英語での１分程度の会話文をペアで創作し。言えるようにする。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・植物と動物及び植物同士が行うコミュニケーションについて読んで理解する。 ・本文全体の要約文を５～8 文程度の英語で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・植物と動物及び植物同士が行うコミュニケーションについて読んで理解することができる。 ・本文全体の要約文を5～8 文程度の英語で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・分詞構文、分詞の形容詞的用法、知覚動詞＋名詞＋do/doing の意味と用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・分詞構文、分詞の形容詞的用法、知覚動詞＋名詞＋do/doing の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8	マララ・ユスフザイの国連でのスピーチ	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		マララ・ユスフザイ襲撃事件の動画を見て事件の背景について考えたことを英語で述べる	動画を見ながらメモをし、それを参考にしながらグループ内で考えを述べ合う。	マララ・ユスフザイ襲撃事件の動画を見て事件の背景について考えたことを英語で述べることができる	・グループでの言語活動を観察する。 ・授業内で発表させる。

		「英語表現の能力」			
		・イスラム教の女性観その他について調べたことを英語で簡潔に書き、図や画像を用いながら発表する。	・ワークシートに英語でメモし、スクリプトにまとめる。	・イスラム教の女性観その他について調べたことを、図や画像を用いながら英語で簡潔に1分程度発表することができる。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・マララのスピーチの内容とタイトルの持つ意味を（スクリプトを補助的に使いながら）聞いて理解する。 ・本文全体の要約文を5～8文程度の英語で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・マララのスピーチの内容とタイトルの持つ意味を（スクリプトを補助的に使いながら）聞いて理解することができる。 本文全体の要約文を5～8文程度の英語で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞、関係副詞、比較の表現①の意味と用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞、関係副詞、比較の表現①の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 9	雪の結晶が生成されるメカニズムおよび文化との関係を説明する内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・雪を科学的にとらえた動画と芸術的にとらえた動画を見て自分はどちらが好きかを考え理由とともに相手に伝える。	・動画を見ながらメモをし、それを参考にしながらペアで述べ合う。	・雪を科学的にとらえた動画と芸術的にとらえた動画を見て自分はどちらが好きかを考え相手に伝えることができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・授業内で発表させる。
		「英語表現の能力」			
		・科学的あるいは芸術的アプローチのどちらかを用いて、スクリプトを見ずに雪について1分程度スピーチをする。	・ワークシートにアイデアを英語でメモし、それをスクリプトにまとめる。	・科学的あるいは芸術的アプローチのどちらかを用いて、スクリプトを見ずに、雪について1分程度スピーチをすることができる。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・雪の結晶ができるメカニズムと文化や芸術へ与えた影響について読んで理解する。 ・本文全体の要約文を5～8文程度の英語で書く	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・雪の結晶ができるメカニズムと文化や芸術へ与えた影響について読んで理解することができる。 ・本文全体の要約文を5～8文程度の英語で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞の非制限用法、It is ～that [who]･･･、比較の表現②の意味と用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞の非制限用法、It is ～that [who]･･･、比較の表現②の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

Lesson10	5,300 年前に死んだ男のミイラが発見されたことと、有史以前の人類の生活についてその調査から浮かび上がったことについて述べた内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・アイスマンの生活についての講義を聞いて理解する。	・講義を聞きながら要点についてメモを取る。 ・質問の答えを考える。	・アイスマンの生活についての講義を聞いて理解することができる	・聞いている様子を観察する
		「英語表現の能力」			
		・アイスマンがもし話せたら何を語るかを想像し、アイスマンになって 1 分程度スクリプトを見ずにスピーチをする。	・ワークシートにアイデアを英語でメモし、それをスクリプトにまとめる。	・アイスマンがもし話せたら何を語るかを想像し、アイスマンになって 1 分程度スピーチをすることができる。	・授業内で発表させる ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「英語理解の能力」			
		・有史以前の人類の生活について述べられていることを読んで理解する。 ・本文全体の要約文を 5～8 文程度の英語で書く。	・Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ペアワークなどの形で音読を行い、理解度を確認する。	・有史以前の人類の生活について読んで理解することができる。 ・本文全体の要約文を 5～8 文程度の英語で書くことができる。	・定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・仮定法過去、仮定法過去完了、同格の that の意味と用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・仮定法過去、仮定法過去完了、同格の that の意味と用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。